

日本聖公会東京教区
各教会・礼拝堂御中
信徒・教役者のみなさま

教区代祷表の修正と東日本大震災を憶えての祈りのお願い

主の平和

東京教区では教区代祷表や代祷信施奉献先のリストが用意され、教区内外のさまざまな人びとの営みや教会の働きを覚えて祈り合いまた支え合うことの助けとして用いられています。

昨年度、信仰と生活委員会と教区事務所が協力して、教区代祷表と代祷信施奉献先のリストの見直しを行いました。主な変更点は、代祷信施奉献先のリストに混在していた信施奉献の希望の伴うものと代祷のみを求める項目とを整理し用いやすくすることでした。あわせて教区会の決議などによって定められている祈りの項目が教区代祷表に明記され、また東日本大震災とその他の自然災害を憶えての祈りについては、毎月11日に近い主日にお祈りいただけるように教区代祷表に表現を加えました。また他にも代祷表に一部加筆が相応しいことがありましたので、修正を加えた代祷表をお送りします。

「東日本大震災、また世界各地の自然災害を憶えて祈る」の集いは、主教座聖堂と各教会グループがそれぞれ隔月で担当して行ってきましたが、主教座聖堂での祈りの集まりが毎月11日に行われるようになったこともあり、今年4月以降は教会グループとしての祈りの会の開催の依頼に代えて、前述の通り各教会・礼拝堂での祈りにお加えいただきますようお願いいたします。聖マーガレット教会の日曜学校で用いられている祈りを同封させていただきます。管区事務所のホームページにあります祈り、また主教座聖堂で用いられている式文などを参照ご活用いただけたらと思います。

今後とも教区代祷表と代祷奉献先のリストが、祈り合いと支え合う共同体のしるしとして活かされ用いられますようお願いしております。

わたしたち東京教区のすべて営みが、神さまの導きと豊かな祝福のうちにありますようお願いいたします。

2018年2月7日

日本聖公会東京教区
信仰と生活委員会 委員長 司祭 下条裕章
東京教区事務所 宣教主事 司祭 卓志雄

じしん おおあめ ひさい ひとびと いの
地震、大雨などで被災された人々のためのお祈り

てん ちち かみ おお じしん つなみ おおあめ いのち うしな ひとびと いま
天の父なる神さま、大きな地震、津波、大雨で命を失った人々と、今もなお

くる せいかつ おく ひとびと いの な ひとびと しゅ ふか いく
苦しい生活を送る人々のためにお祈りします。亡くなった人々を主の深い慈し

みのうちにやすらかに憩わせてください。また避難生活を続けている人々に必要

なものがあたえられますように。そしていちにちはやあんしんねむ
なものが与えられますように。そして一日も早く安心して眠れますように。

かな なや くる こどく ひとびと こころ きず お ふあん
悲しみ、悩み、苦しみ、孤独のうちにある人々、心に傷を負い不安のなかに

お 置かれ、きぼう うしな ひとびと だいじ ひと あ ひとびと ゆうき きぼう
置かれ、希望を失いかけている人々、大事な人に会えない人々に勇気と希望を

あた あんしん く
与え、安心して暮らせるようにしてください。

わたし ひさい ひとびと あゆ ゆうき あた
そして私たちも被災されたすべての人々とともに歩みだす勇気をお与えくだ
さい。

いの しゅ
この祈りを主イエス・キリストによっておささげいたします。

アーメン。

せい きょうかいにちようがっこう
聖マーガレット教会日曜学校 . 2017年1月